

市町村名 恩納村

令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-①	観光地危険生物駆除事業(ハブ駆除事業)	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(エ)
担当部課名	村民課	事業実施(予定)年度	平成24年度~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				観光客受入体制の整備
				III-1-(1)

事業内容 観光客や地域住民のハブ等による咬傷被害防止を図るため、ハブの目撃・捕獲数が多い仲泊~宇加地にかけて捕獲機を450基設置・巡回し、ハブ等の駆除を行う。

効果発現年度  当年度  後年度( 年度)

実施方法  直接実施  委託  補助  負担  その他( )

		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	5,820	5,930	5,822	6,055	6,376
	(b) 予算現額	5,575	5,799	5,822	6,055	6,376	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 245	▲ 131	0	0	0	
	(d) 繰越額						
	A. 計(b+d)	5,575	5,799	5,822	6,055	6,376	
	B. 執行済額	5,280	5,385	5,371	5,204	5,729	
	うち交付金充当額	4,224	4,308	4,296	4,163	4,583	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)	94.7%	92.9%	92.3%	85.9%	89.9%	
	予算の状況の説明	352千円のハブ売上収入(交付対象外経費)等により、予算現額と執行済額の差額が294千円あるものの、当初計画していた事業内容は全て実施しており、活動目標の達成状況を鑑みて適正だったと考える。					

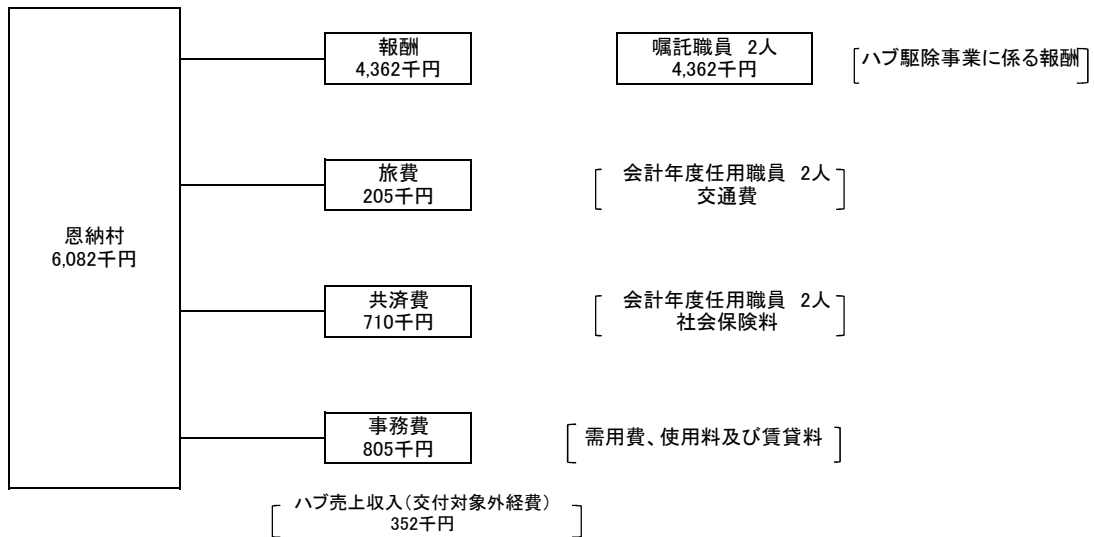
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
		ハブ生息地へのハブ捕獲器設置数	目標	( 400箇所 )	( 400箇所 )	( 400箇所 )
		実績	450箇所	450箇所	450箇所	450箇所
		目標	( )	( )	( )	( )
		実績				
達成状況説明	・ハブ等が多く生息する村内南部の地域に、設置予定基数の400基を超える捕獲器を設置し巡回・捕獲を行った。					

成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
		捕獲器設置周辺における咬傷被害件数	目標	( 0件 )	( 0件 )	( 0件 )	( 0件 )
			実績	0件	0件	0件	
			目標	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明	捕獲器設置周辺地域における咬傷被害件数は0件で目標を達成することができた。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイワンハブの生息区域の見極めのため、生息が懸念される地域へ捕獲器の設置を行ったが、タイワンハブは捕獲されなかった。</li> <li>・現在の体制での捕獲器の設置数は450基が限界である。</li> <li>・北部地域(名嘉真地区)における目撃・捕獲数が増えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は北部地域(名嘉真地区)での定着状況の調査を行い、捕獲器の増設が必要であることが分かった。今後は450基ある捕獲器の各地域での設置割合や、設置エリアの見直しを行っていく必要がある。</li> </ul>
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度行った調査をもとに北部地区(名嘉真地区)への捕獲機の設置数を増加させる。また引き続き各地域での生息域の調査を行っていく。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,082	5,729	4,583	1,146	352



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○会計年度任用職員の採用方法について、村の規定に準じ採用した。また、特殊事業のため経験者を採用した。 ○費用については、見積入札や村の規定に準じているため適正であった。 ○費目、使途については事業目的の観点から必要なものか等について額の確定時において支出等に関する書類確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	恩納村
------	-----

**令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】**

事業番号・事業名	1-②	恩納村観光誘客・おもてなし推進事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-工
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度	観光客受入体制の整備
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

**事業内容**  
観光客の利便性を確保するため、文化情報センターへ観光案内人の配置を行う。

**効果発現年度**  
 当年度       後年度(      年度)

**実施方法**  
 直接実施       委託       補助       負担       その他(      )

		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	52,090	57,198	33,220	26,227	18,988
		(b) 予算現額	52,090	31,524	31,646	17,830	5,390
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 25,674	▲ 1,574	▲ 8,397	▲ 13,598
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	52,090	31,524	31,646	17,830	5,390
		B. 執行済額	49,679	30,764	31,646	17,830	3,972
		うち交付金充当額	39,743	24,611	25,316	14,263	3,177
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	95.4%	97.6%	100.0%	100.0%	73.7%
		予算の状況の説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、「美ら海花火大会」及び東京開催の「おんな村観光物産展」の事業が中止となったため、交付対象事業費が△15,016千円となった。				

活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況			
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
観光誘客プロモーションの実施	目標	( 1回実施 )	( 2回実施 )	( 1回実施 )	( 1回実施 )
	実績	1回実施	2回実施	1回実施	中止
イベントの開催	目標	( 花火大会の開催 )	( 花火大会の開催 )	( 花火大会の開催 )	( 花火大会の開催 )
	実績	花火大会の開催	花火大会の開催	中止	中止
観光案内人の配置	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )
	実績	実施	実施	実施	実施
観光誘客人の配置	目標	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )	( 実施 )
	実績	実施	実施	実施	実施
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント事業の開催については、R2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「美ら海花火大会」が中止となった。</li> <li>・プロモーション事業として、例年東京池袋(サンシャインシティ)で行っている「沖縄めんそーれフェスタ」が新型コロナの影響により中止となった。</li> <li>・観光案内人を恩納村文化情報センターの観光フロアに2人配置した。</li> <li>・観光誘客人を本事業の業務担当として恩納村観光協会に1人配置した。</li> </ul>				



市町村名	恩納村
------	-----

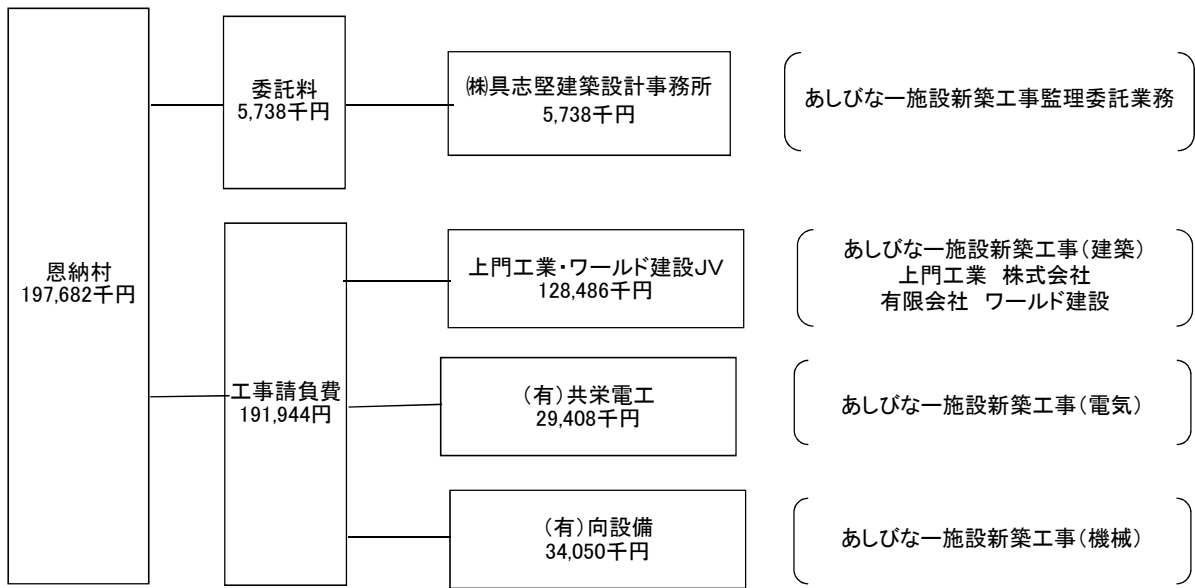
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-③	あしびなー施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成29年～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	地域の伝統芸能を保存継承し、それらを活かした体験学習を提供する場を整備することにより、観光誘客を図る。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度(繰越)	R3年度		
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	(a) 当初予算額	10,912	18,931	22,890	97,206	175,274	
		(b) 予算現額	10,912	18,931	5,751	102,222	144,122	
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 17,139	5,016	▲ 31,152	
		(d) 繰越額	0	22,890	0	0	0	
	A. 計(b+d)	10,912	41,821	5,751	102,222	144,122		
	B. 執行済額	8,714	18,868	5,751	37,085	197,682		
	うち交付金充当額	6,971	15,094	4,600	29,668	158,145		
	次年度繰越額		22,890	0	65,137	0		
	執行率(%) (B/A)		79.9%	45.1%	100.0%	36.3%	137.2%	
予算の状況の説明	用地取得の遅れなどで、工事着手が令和3年1月になったため令和3年度に繰越しをした。それに伴い、令和3年度の工事を令和3年10月末完成を12月に延長した。							
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況						
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	建設工事の実施	目標	( )	( )	( 工事の実施 )	( 工事の完成 )		
		実績			繰越	完成		
達成状況説明	目標	( )	( )	( )	( )			
	実績							
令和2年度分の工事が着手の遅れで繰越し、それに伴い令和3年度分の工事も10月末から12月に延長して完成した。								
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)		
		目標	( )	( )	( 建設工事の実施 )	( 建設工事の完成 )	( )	
	実績			繰越	完成			
	【R4成果目標】施設の年間利用者 1,680人以上	目標	( )	( )	( )	( )	( 1680人以上 )	
実績								
進捗状況説明	R1年度に実施予定だった用地取得が難航し完了できなかったが、繰越しをして交渉がまとまり契約することができた。建築基本設計と建築実施設計を同年に実施できなかったこと、用地交渉の難航により当初より2年の遅れになり、供用開始予定が令和4年度となった。このため効果発現の時期を令和4年度に変更している。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・着手の遅れにより繰越となったが、遅れを取り戻すために無理な工程を組まないように注意し、安全・安心な工程に努めた。</p>	<p>・住宅密集地での工事になるので、工程管理に注意を払うが、工期間に合わないときは、資材等の変更などで対応していく。</p>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>・令和3年9月に事業完了、12月にその他整備も終了し、地域文化活動及び観光客等の受け入れ態勢を整える。 また、恩納村の広報誌や、近隣観光施設(恩納村文化情報センター、おんなの駅など)と連携して、観光誘客を図るなど、PR活動を継続する。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
263,408	197,682	158,145	39,537	65,726



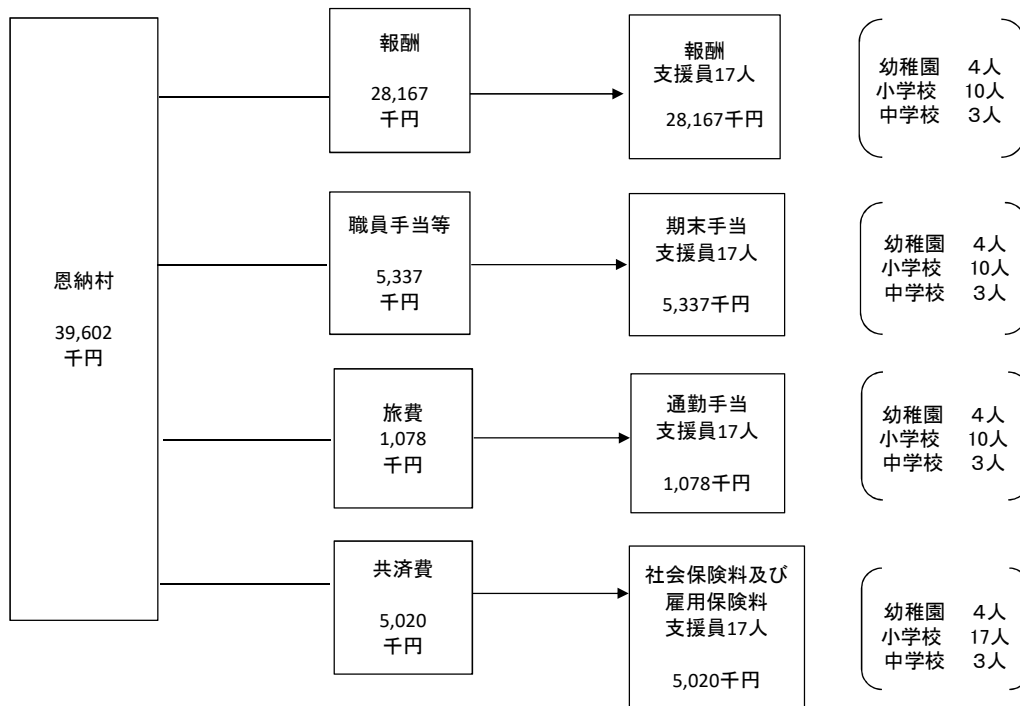
資金の流 れの点 検・費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である仲泊区は総事業費の2割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	恩納村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	特別支援教育支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ		
担当部課名	恩納村教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成29~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進		
事業内容	恩納村立幼小中学校に在籍する何らかの支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、特別支援教育支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		29,648	54,355	44,910	38,595	40,361
			25,566	45,142	44,970	38,595	40,361
			▲ 4,082	▲ 9,213	60	0	0
			-	-	-	-	-
		B. 執行済額	25,503	37,068	37,272	36,740	39,602
		うち交付金充当額	20,402	29,654	23,962	21,920	28,953
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	99.8%	82.1%	82.9%	95.2%	98.1%
		予算の状況の説明	・対象外経費を含めた総事業費は39,602千円で執行率は98.1%となるため執行状況は良好である。				
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	特別支援教育支援員充足率 100%	目標	( 100% )	( 100% )	( 100% )	( 100% )	
		実績	幼稚園 75.0% 小学校 116.7% 中学校 200.0%	幼稚園 100.0% 小学校 130.0% 中学校 100.0%	幼稚園 100.0% 小学校 111.1% 中学校 100.0%	幼稚園 100.0% 小学校 111.1% 中学校 100.0%	
特別支援教育支援員配置数	目標	( 幼稚園:4人 小学校:12人 中学校:6人 )	( 幼稚園:4人 小学校:10人 中学校:6人 )	( 幼稚園4園:4人 小学校5校:9人 中学校1校:3人 )	( 幼稚園4園:4人 小学校4校:9人 中学校1校:3人 )		
	実績	幼稚園 3人 小学校 14人 中学校 6人	幼稚園 4人 小学校 13人 中学校 6人	幼稚園 4人 小学校 10人 中学校 3人	幼稚園 4人 小学校 10人 中学校 3人		
	達成状況説明	・配置の遅れや中途退職による欠員期間が生じた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(H29年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R3年度)	
			( 93%以上 )	( )	( )	( )	( )
	学校評価における、特別支援教育に関する項目について、「学校は、特別な支援が必要な児童生徒に対し適切な対応ができていますか」で、評価3以上(4段階評価)が93%以上を目指す。	目標	( 93%以上 )	( )	( )	( )	( )
		実績					
特別支援員の対応について、保護者等を対象にアンケートを実施：学校生活や学習上の困難の改善が図られた等の肯定的な回答80%以上アンケート結果を含め、本事業のあり方について検証する。	目標	( )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	
	実績		92.80%	97.00%	94.45%	94.70%	
	進捗状況説明	引き続き高い評価が得られた。今後の支援員配置についても94.6%以上が希望している。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の不安を抱えた状況であったが、保護者アンケートから変化や成長がみられたとの回答が90%であったことから、支援員の資質向上が図られ、適切な支援が行われているものと思われる。</li> <li>・慢性的な人手不足による支援の不足が生じないようにしなければならない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援員の資質向上については、引き続き指導主事による研修を計画的に実施していく。</li> <li>・引き続き近隣市町村の雇用条件等を参考にし、必要があれば雇用条件を見直すと同時に欠員が生じた際の支援の在り方について学校と調整しておく。</li> </ul>
<b>今後の取り組み方針</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導主事による研修実施に加え、学校内での研修に積極的に参加させ、校内連携の充実に取り組む。</li> <li>・支援員の継続雇用により安定した支援体制を維持する。</li> </ul>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
39,602	36,192	28,953	7,239	3,410



資金の流 れ、費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○「恩納村特別支援教育支援員配置要綱」「恩納村会計年度任用職員の任用等に関する規則」に基づいた支出であり妥当である。 ○予算規模は妥当である。 ○村条例に基づいた積算および出勤簿管理により支出しているため適正であると判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名 恩納村

令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-②	学校ICT環境整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア
担当部課名	教育委員会 学校教育課	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				教育機会の拡充
				Ⅲ-3-(1)

事業内容 児童生徒の学力向上を目的に、電子黒板や学習用PCの整備のほか、ネットワークセキュリティの強化などのICT環境の整備を行う。

効果発現年度  当年度  後年度(令和4年度)

実施方法  直接実施  委託  補助  負担  その他 ( )

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		70,896			
	(a) 当初予算額		70,896			
	(b) 予算現額		70,896			
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
	(d) 繰越額		0			
	A. 計(b+d)	0	70,896	0	0	0
	B. 執行済額		65,596			
	うち交付金充当額		52,476			
	次年度繰越額		0			0
	執行率(%) (B/A)	#DIV/0!	92.5%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明	年度途中に令和4年度から喜瀬武原小学校が休校する旨決定し、対象費目が減となったため、5,300千円減額補正した。					

活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況			
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
		村内の小中学校における電子黒板、PC及びネットワークセキュリティの導入	目標 ( ) ( ) ( 導入 ) ( )	実績	完了
	目標 ( ) ( ) ( ) ( )	実績			
達成状況説明	村内小中学校すべてに電子黒板、PC他ネットワークセキュリティの導入を完了した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)	
		村内の小中学校における電子黒板、PC及びネットワークセキュリティの導入	目標 ( ) ( ) ( ) ( 導入 ) ( )	実績		導入	
		・教員にアンケートを実施し、授業でデジタル教科書やICT関連教材を活用し、情報活用能力の育成ができた割合 ・児童生徒にアンケートを実施し、タブレット端末等を使用して、情報を活用できるようになった割合	目標 ( ) ( ) ( ) ( ) ( 80% )	実績			
		進捗状況説明	子どもたちのICTにおける情報活用能力の向上を目指し、個別最適化された学習環境の実現にむけて取り組む。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>情報化の急速な進展は、今後ますます多様化し、高度化することが予想される。そのため、児童生徒の情報活用能力を高め、子どもたちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを学校現場で持続的に実現させるため、学習環境の最適化を推進することが必要とされる。</p>	<p>学習環境の最適化を推進するため、本事業においてはICT環境の整備を進めた。          今後は、本事業において整備したICT機器を活用し、個別最適化された学びを学校現場で持続的に実現させる必要がある。</p>

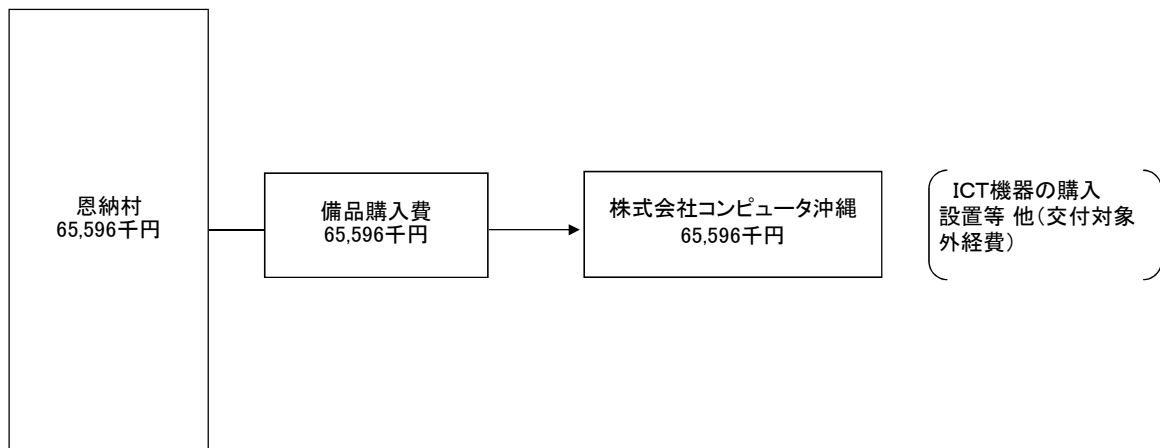
**今後の取り組み方針**

・ICT機器を活用した学びの実現には、教職員におけるICT機器の習熟度に依る部分も大きい。今後は、ICT支援員の巡回訪問に加え、基本的な操作から授業支援ソフト等の活用方法、教材作成等の支援を引き続き行う。

・ICT機器を活用した授業等の支援を行うにあたり、学校や指導主事と連携し、児童生徒の授業に対する興味や関心、意欲の向上につながるよう指導や助言を行っていく。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
98,120	65,596	52,476	13,120	32,524



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。            ○予算規模は、必要経費内で執行し、事業内容に沿った適正な規模であった。            ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	